

いただいた主な意見と骨子案における主な該当分野

資料2

県民・団体等(715人・101団体)の回答内容をAIも活用して整理・分析した結果、意見数は3,100件程度

未来戦略会議テーマ別会議（5/25「安全・安心」、6/1「産業・経済」、6/8「女性・こども・魅力」）

主な意見(意見数:約100件)		主な該当分野(政策目標・方向性)
安全・安心	地域防災力の基盤は「人とのつながり」である	2-3「災害に備え、暮らしを支える基盤が整い安心できる」
	若者が流出する大きな要因は、ふるさとの良さを知らないこと。こどもの頃からのふるさと教育をさらに充実することが重要	1-1「岐阜を好きになり、住み続けたい」
	外国人について、「労働力」から「地域住民」へと受入政策を転換する必要	3-4「誰もが地域とつながることができる」
産業・経済	地域経済は、強みである観光、自然、文化等を軸に組み立てる視点が必要	1-3「地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる」
	AIは人間の価値を高めるための道具として位置付けるべき	3-3「誰もが健康でいきいきと暮らし続けられる」
	小さなネットワークから生まれるスモールビジネスを育てることが地域経済の厚みになる	1-4「新しいことに挑戦できる」
	産学金官が連携したプラットフォームの整備、共創・社会実装による地域創生の視点について、戦略にしっかりと書き込むべき	1-4「新しいことに挑戦できる」
女性・こども・魅力	女性の県外流出は、岐阜県で活躍できるイメージが持てないことにある	1-4「新しいことに挑戦できる」
	県外流出対策だけでなく、県外に出た人に「岐阜に戻りたい」と思わせる政策が必要	1-1「岐阜を好きになり、住み続けたい」
	「まち全体」で子育てをする環境整備が必要	2-1「家庭や子育てに希望を持ち、こどもが健やかに成長できる」
	あらゆる世代が社会とつながり続け仕組みを整え、情報発信すべき	3-4「誰もが地域とつながることができる」

県民の意見募集（5/26～7/24、ウェブアンケート方式で実施）

- 回答者数：150人
- 回答者の約6割が10～30代の若者

主な意見(意見数:約900件)	主な該当分野(政策目標・方向性)
若者が「 岐阜で暮らしたい、岐阜で働きたい 」と思えるよう、安心して子育てで きる環境整備 を最優先で進めてほしい	2-1「家庭や子育てに希望を持ち、こどもが健やかに成長できる」
岐阜には 何もないというイメージ を払拭してほしい	1-2「岐阜の魅力に触れ、多くの人が訪れたくなる」
学力に偏るのではなく、創造力や課題解決力を育む教育を重視してほしい	3-1「こどもがのびのび学び、成長できる」
観光客が 周遊できる一体感のある観光 振興策に取り組んでほしい	1-2「岐阜の魅力に触れ、多くの人が訪れたくなる」
未経験者や若者、県外からの移住者が 農業に魅力を感じ、就農への意欲を持て るとともに、安心して働き、十分な収入を確保できる環境の整備を進めてほしい。	1-3「地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる」
担い手不足が深刻する中であっても、医療・福祉など 地域の生活に不可欠なサービス を維持してほしい	2-2「必要な医療や福祉を受けられる」
県全体として、AX(AI Transformation)を戦略的に推進し、「 AX先進県 」を目指してほしい	1-4「新しいことに挑戦できる」
岐阜県の農業や伝統を単なる「特色」としてではなく、「仕事」として継承・発展させていく政策を推進してほしい	1-3「地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる」
施設の統廃合やインフラの効率化、デジタル行政の推進を通じて、人口減少に対応する行政への転換も検討すべき	「戦略の推進を支える基盤(行財政運営指針)」

県内団体等（文書照会を実施）

○ 回答団体数：101団体

※ 42市町村に加え、産業、医療、農業などの関係団体(計59団体)から回答を得た。

主な意見(意見数:約500件)	主な該当分野(政策目標・方向性)
限られた人員で生活インフラや生活必需サービスの供給を維持していくことが求められる	2-3「災害に備え、暮らしを支える基盤が整い、安心できる」
大規模災害に備え、平時からの地域防災力の向上や災害発生時の迅速な被災者支援につなげるため、防災・医療・福祉等の幅広い分野において、関係機関が連携し、支援体制の強化や人材育成の取組も必要	2-3「災害に備え、暮らしを支える基盤が整い、安心できる」
県外からの移住などを積極的に促す施策が必要	1-1「岐阜を好きになり、住み続けたいくなる」
県産農畜水産物のブランド戦略を強化するため、観光・教育・文化等と連携した魅力発信や販路拡大が必要	1-3「地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる」
若者や女性、多様な人材が魅力を感じて参入・定着できるよう、デジタル技術(DX)の導入による生産性向上や、多様な働き方の支援が必要	3-2「働きたいと思える仕事に出会え、続けられる」
森・川・海のつながりを守るインフラ整備や環境対策を進め、自然災害に強い、安全で持続可能な岐阜の基盤を確立すべき	2-3「災害に備え、暮らしを支える基盤が整い、安心できる」
高付加価値な滞在型観光や、地場産品の消費拡大による地域経済の活性化支援に加え、地場産業・伝統工芸等の伝統産業の保護と後継者育成を支援してほしい	1-2「岐阜の魅力に触れ、多くの人々が訪れたいくなる」 1-3「地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる」
森林境界の明確化、不在地主対策を進めてほしい	2-4「豊かな自然と共に暮らし続けられる」

(参考) 意見をいただいた関係団体(計59団体)

分野	団体名	
産業・経済	・岐阜県商工会議所連合会 ・岐阜県中小企業団体中央会 ・岐阜県DX推進コンソーシアム	・岐阜県商工会連合会 ・岐阜県産業経済振興センター など 計8団体
医療・福祉	・岐阜県歯科医師会 ・岐阜県身体障害者福祉協会	・岐阜県社会福祉協議会 など 計21団体
農林畜産	・岐阜県農業協同組合中央会 ・岐阜県農畜産公社	・岐阜県森林組合連合会 ・岐阜県森林公社 など 計12団体
インフラ・基盤	・岐阜県建設業協会	・岐阜県住宅供給公社 など 計3団体
教育	・岐阜県特別支援学校長会 ・岐阜県私立幼稚園連合会	・岐阜県私立中学高等学校協会 ・岐阜県教育文化財団 など 計11団体
雇用・労働	・岐阜労働局 ・連合岐阜	・岐阜県経営者協会 など 計4団体

○ 回答者数：447人(小学生264人、中学生183人)

主な意見(意見数:約1,000件)		主な該当分野(政策目標・方向性)
小学生	少子高齢化で人が減っていったら、野菜を作る人や物を売る人が減って、生活がしにくくなる	1-3「地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる」
	学校がなくなると、友達と遊べなくなったり、勉強ができなくなったりするのが悲しい	3-1「こどもがのびのび学び、成長できる」
	AIやロボットで代替できる仕事は自動化し、人にしかできない仕事に人材を集中させる	1-3「地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる」
	山や川、緑、花などの自然を大切に、きれいな空気や水を守っていききたい	2-4「豊かな自然と共に暮らし続けられる」
	先生の職業に就く人を県が呼びかけて募集し、先生の人数を増やす	「戦略の推進を支える基盤(行財政運営指針)」
中学生／高校生	ライフライン、特に上下水道の老朽化問題を最近ニュースでよく見るため社会インフラが整備されている方が、より安心して暮らせると思う	2-3「災害に備え、暮らしを支える基盤が整い、安心できる」
	若い世代が岐阜県で学び、働き、暮らしたいと思える環境づくりが必要。地元企業や地域の魅力を知る機会を増やすことが大切	1-1「岐阜を好きになり、住み続けたいくなる」 3-2「働きたいと思える仕事に出会え、続けられる」
	県内企業の見学会や職場体験、企業で働く人の講話を増やしてほしい。中学生のうちから地元企業の魅力を知ること、将来岐阜県で働くことを考えやすくなる	
	山や自然が多いことは良いが、クマなど野生動物への不安もあり、安心して自然と関われる環境づくりが必要	2-4「豊かな自然と共に暮らし続けられる」
	学生に地方自治体の職員に興味を持ってもらう必要がある。公務員の仕事の内容ややりがいを伝える活動をするとうい	「戦略の推進を支える基盤(行財政運営指針)」

市町村長との意見交換（9/1現在、21市12町2村で実施済み）

主な意見(意見数:約100件)	主な該当分野(政策目標・方向性)
圏域、市町村ごとの課題をしっかりと分析した上で、長期的な県政の「幹」「枝葉」が分かる俯瞰した戦略にしてほしい	今後策定する本編素案に反映
地域で特性は異なる。 地域の特色、強みを生かす施策 を進めてほしい	
単独自治体での行政運営には限界 があり、デジタル分野等対応できない領域が増加している	「戦略の推進を支える基盤(行財政運営指針)」
医師・看護師不足や病院経営の悪化に対応するため、県が主体となって 医療機能の再編 や 医療人材の確保・育成 を進めてほしい	2-2「必要な医療や福祉を受けられる」
デジタル、土木などの専門人材が不足する市町村に対し、共同調達や専門的な助言など、 県による人的・技術的な伴走支援 を強化してほしい	「戦略の推進を支える基盤(行財政運営指針)」
公共交通、消防、ごみ処理、水道、広域観光など、 市町村を越える課題 について、 県が調整・推進役 を担ってほしい	「戦略の推進を支える基盤(行財政運営指針)」
企業誘致に加え、県内企業の流出防止、起業支援、キャリア教育などを通じ、 地域内で雇用と産業を生み出す取組 を進めてほしい	1-4「新しいことに挑戦できる」
外国人は地域の労働力確保に欠かせない存在 となっている一方で、文化や生活習慣の違いによる課題も散見される	3-4「誰もが地域とつながることができる」
人口の奪い合いではなく、二地域居住、関係人口、空き家活用などを通じ、 持続可能な地域づくり を進めてほしい	1-1「岐阜を好きになり、住み続けたい」

圏域別意見交換会（6/3「中濃圏域」、6/11「岐阜圏域」、6/17「西濃圏域」、7/8「東濃圏域」、7/13「飛騨圏域」）

主な意見（意見数：約500件）	主な該当分野（政策目標・方向性）
行政職員が減少する中、県と市町村の役割分担を見直し、事務の共同化・集約化によって 行政サービスを維持する仕組み が必要	「戦略の推進を支える基盤（行財政運営指針）」
AI活用を含むDXを推進し、 都市部に劣らない魅力ある企業・職場づくり が必要	3-2「働きたいと思える仕事に出会え、続けられる」
既存の枠組みに捉われない 広域医療のあり方 の検討が必要	2-2「必要な医療や福祉を受けられる」
若者や女性が「 岐阜に戻れば挑戦できる、自分の可能性を広げられる 」と感じられる環境づくりが重要	1-4「新しいことに挑戦できる」
高齢化が進む中、移動手段の確保が必要。 自動運転の社会実装 の実現に向け、県全体で取り組むことが必要	3-3「誰もが健康でいきいきと暮らし続けられる」
本県の 自然、歴史、文化の魅力に触れられる機会 や、 地域愛を感じられる学び が重要	1-1「岐阜を好きになり、住み続けたいくなる」
外国人住民が地域の担い手として増加する中、日本語学習や生活ルールの周知、住民との交流など、 多文化共生を支える体制づくり が必要	3-4「誰もが地域とつながることができる」
こどもや家庭が抱える問題の複雑化を踏まえ、深刻化する前に気付き、地域や関係機関が連携して支える 予防的なこども・家庭支援 が重要	2-1「家庭や子育てに希望を持ち、こどもが健やかに成長できる」
まずは県民の「安全・安心」の確保 が最重要	2「安心して暮らし続けられる」
リニア開業を契機に、 県全体で選ばれる地域となるような政策展開 が必要	政策目標1「人やモノが集まり、地域が楽しく元気になる県」